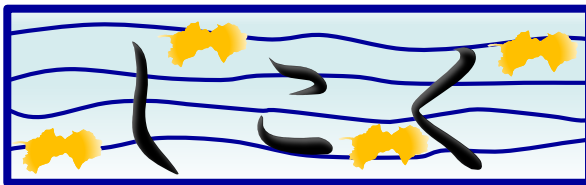


主な記事

第14旅団長年頭の辞
四国4県知事新年の挨拶
四国4県協力会会長新年の挨拶
自衛隊地方協力本部長新年の挨拶
第14旅団部隊長等新年の挨拶

(1面)
(2面)
(3面)
(3面)
(4面)



令和6年(2024年)1月1日 第185号

旅団長統率方針「万事任務が基準」
旅団長要望事項「実力の進化」「地域との連携」



陸上自衛隊第14旅団広報紙

発行所：第14旅団司令部総務課広報班
住所：香川県善通寺市南町2丁目1-1
電話：0877-62-2311 (内2256・2257)
メールアドレス：pr-14b-ma@inet.gsdf.mod.go.jp

謹賀新年

令和六年元旦

香川県「善通寺から見える朝暉」

年頭の辞

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、令和六年の清々しい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げますとともに、平素より第十四旅団に対する格別のご協力とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、世界は今、歴史の分岐点に直面しています。ロシアによるウクライナ侵略により、国際秩序の根幹はいとも簡単に破られました。同様の深刻な事態が、将来、インド太平洋地域、とりわけ東アジアにおいて発生する可能性は否定できません。また、中国は東シナ海や南シナ海で力による一方的な現状変更の動きを推し進め、北朝鮮はかつてない高い頻度で弾道ミサイルを発射する等、その行動をエスカレートさせています。昨年十月に生じたイスラム組織ハマスによるイスラエルへの大規模攻撃による事態も未だ出口が見えない状態です。国際社会は、法の支配に基づく国際秩序を堅持できるかどうかの瀬戸際にあるといえます。

一昨年末に策定された安保三文書では、国際安全保障の第一線に位置する我が国が、力による一方的な現状変更やその試みを決して許さないとの意思を明確にするため同盟国や同志国等との連携に加え、我が国自身による防衛力の抜本的強化を打ち出しました。戦後の防衛政策からの大転換となる防衛力の抜本的強化は、政府の現状の安全保障に対する強い危機感の表れであり、また自衛隊に対する大きな期待の表れでもあります。

その中で、我々第十四旅団は、防衛省・自衛隊が進める取り組みを具現化するため、昨年十月には、島嶼部における「任務の継続性」を目的とした「令和5年度旅団演習」を行い、配属・協同部隊を含む増強第十四旅団の一連の行動を演練し、その実力を着実に向上させています。

また、各種災害等への対応においては、昨年十一月の愛媛県大洲市での山林火災への災害派遣活動を完遂するなど部隊の即応性と関係機関と連携した自衛隊の役割を發揮することができました。更に南海トラフ地震をはじめとする、各種自然災害に対しては迅速かつ的確に対応するため、各種防災訓練を通じて、災害対処能力の実効性の向上を図るほか、国や四国四県等との連携強化に努めて参ります。

四国の防衛・警備、災害派遣のほか、作戦基本部隊として我が国に脅威が及ぶ場合には抑止・対処の中核を担う我々は、地域の皆様から信頼され、国民の負託に応えられる強い部隊でなければなりません。本年も任務を必ず達成するため「万事任務が基準」を合言葉に、いかなる事態にも即応し、与えられた任務を完遂できるよう「実力の進化」を図るとともに、「地域との連携」を常に意識して参ります。

結びに、皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げますとともに、旅団に対し変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶と致します。



第十四旅団長

陸将補 大場 剛



四国4県知事 新年の挨拶



徳島県知事

後藤田正純



新年明けましておめでとうございます。
陸上自衛隊第十四旅団の隊員の皆様、そしてご家族の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
さて、一昨年のロシアによるウクライナ侵攻は、ウクライナが抵抗、反転攻勢などを図っているものの長期混迷化の様相を呈するとともに、我が国周辺におきましても北朝鮮の核・弾道ミサイル開発の誇示、南西域での中国軍の活発化など安全保障環境はこれまで以上に厳しさと不確定性を増しております。
一方、国内では、切迫する南海トラフ巨大地震や激甚化、頻発化する各種自然災害の脅威が高まっております。また、長きにわたったコロナ禍は、五類移行により国民生活はひとまず落ち着きを取り戻しましたが、いつ、新たな感染症の脅威が再来しても不思議ではありません。
このような厳しい国内外情勢の中、自衛隊の皆様には、国民の安心と安全を守るため、一年三六五日一時も休むことのない各種警戒監視活動や、厳しくたゆまない訓練を通じ、精強性の維持・向上に努め、我が国の平和と独立を守り抜く努力を続けられていることに、感謝と深甚なる敬意を表します。
本県におきましては、少子高齢化、若者の流出、それに伴う労働力不足など「静かなる有事」が進行し、まさに「地方創生戦国時代」を迎えています。今後十年は徳島にとって「正念場」であり、この厳しい時代を勝ち抜くため、本県の「安心度」「魅力度」「透明度」の向上に取り組みしております。
とりわけ、この「安心度」の向上には、自衛隊をはじめ関係機関との連携による共同作戦を迅速に展開し、初動対応力を強化することが重要であり、そのためには関係機関と連携した訓練や防災会議などを継続的に行って、顔の見える関係を築いていくことが必要不可欠です。
このような取組を着実に進め、県民の皆様への「安心度」向上が図られますよう、本年も第十四旅団の皆様には、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。
結びに、『四国の守り』陸上自衛隊第十四旅団のますますのご発展と皆様のご多幸を心から祈念し、新年のご挨拶と致します。



香川県知事

池田 豊人



新年明けましておめでとうございます。
令和六年の年頭に当たり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。
陸上自衛隊第十四旅団の皆様におかれましては、我が国周辺だけでなく、世界的に安全保障環境が厳しさを増す中、国民の安全を確保し、ひいては我が国の繁栄と独立を支えるため、日々、業務に精励されるところに、人命救助や復旧支援活動、家畜伝染病に係る災害派遣など、住民生活の安定と地域の安全・安心に極めて大きく貢献されておりますことに、心から敬意と感謝の意を表します。
また、香川県におきましても、各種の防災訓練などに格別のご理解とご協力をいただいております、厚くお礼申し上げます。
さて、近年、国外ではロシアによるウクライナ侵攻や北朝鮮によるミサイル発射といった、国際秩序を脅かす事象が散見されるところに、国内では平穏な日常が損なわれる自然災害が頻発するなど、我々を取り巻く環境が大きく変化してきています。
本県では、このような状況に対し、国民保護に関する訓練を実施するとともに、全国瞬時警報システムと連動したシイックアウトの全県実施や防災教育の推進、また、各種自然災害へのハード面での対応を進めているところです。
このような対策を進めていくうえで、災害発生時や有事の際に危険を顧みず、住民保護や国防のために献身的に活動される自衛隊をはじめ、防災関係機関との連携強化は、何よりも重要なことと考えています。
どうか、皆様方には、我が国の平和と安全を守るとともに、危機への備えを万全なものとし、あらゆる世代が、一人一人、その個性と能力を発揮し続け、豊かで幸せな暮らしを送ることができる「人生100年時代のフロンティア県」の実現に、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。
今年が、災害や事故のない、明るく笑顔で過ごせる年になりますよう念願いたしますとともに、高度な即応性と機動性を備えた第十四旅団がますます発展されること、並びに隊員の皆様、ご家族の皆様方のご健勝、ご活躍を心からお祈りいたします。



愛媛県知事

中村 時広



明けましておめでとうございます。
令和六年の年頭に当たり、謹んで新春のお喜びを申し上げます。
陸上自衛隊第十四旅団の皆様方におかれましては、国民の生命と財産を守り、国家の存立を維持するという国民の負託にこたえるため、国防という崇高かつ極めて困難な任務に精励されており、深甚なる敬意と感謝の意を表します。
また、愛媛県が実施する総合防災訓練や原子力防災訓練に参加され、被災者の救出・救護、道路啓開、ライフラインの復旧等、大規模災害発生時の連携体制を一層強固にしていたくなど、本県の防災行政の推進に格別の御理解、御協力を賜っており、厚くお礼申し上げます。
更に、昨年十一月に発生した大洲市の林野火災では、被害拡大防止に向け、航空機による消火活動などを実施され、住民の方々の安全・安心の確保に多大な御尽力を賜りましたことに、重ねて深く感謝いたします。
さて、昨年七月には、県内各地に大きな爪痕を残した西日本豪雨災害から5年の節目を迎えましたが、県では、得られた教訓を忘れることなく、二度と甚大な被害を繰り返さないという強い決意の下、関係機関、市町をはじめ、他県とも連携し、社会資本の整備や自主防災組織の活性化、相互応援体制の強化など、ハード・ソフト両面から防災・減災対策の推進に全力を挙げています。とりわけ、人的被害の防止には、住民避難対策が重要であることから、ハザードマップやマイタイムラインなど、避難を判断するための知識の普及や啓発や防災メール等の情報発信を通じて、自助意識の醸成に注力するとともに、登録者数全国1位を目指す防災士の養成と地域での活躍促進に努め、一層の互助の推進を図っているところです。
もとより、発災時に一人でも多くの県民の命と生活を守るためには、自衛隊の方々の御支援、御協力が不可欠でありますので、皆様方におかれましては、引き続き、地域に愛される四国の郷土部隊として、住民が安全・安心に暮らせる「愛顔（えがお）あふれる愛媛県」の実現にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。
終わりに、陸上自衛隊第十四旅団のますますの御発展、並びに皆様方の今年一年の御健勝、御多幸を心からお祈り申し上げます。



高知県知事

濱田 省司



新年明けましておめでとうございます。
令和六年の年頭に当たり、謹んで新春のお喜びを申し上げます。
陸上自衛隊第十四旅団の皆様方におかれましては、我が国の平和と国民の生命・財産を守るため、日夜、国土防衛や災害対応の任務にあたられておりますことに、心から敬意を表します。
特に近年では、北朝鮮が弾道ミサイル発射を繰り返す中、また中国が東・南シナ海において、力による一方的な現状変更やその試みを継続・強化するなど、我が国の安全保障環境がより厳しさを増しているなか、国防を担う自衛隊の皆様様の役割は、ますます重要になってきており、県民、国民の皆様方からの自衛隊への信頼と期待は一層高まっております。
他方、南海トラフ地震をはじめ、災害への事前の備えに関しては、県の総合防災訓練をはじめとして様々な訓練にご参加いただいておりますとともに、独自に統合防災演習といった大規模な災害対処訓練にも取り組んでおられるところです。
こうした取り組みは、甚大な被害が想定される本県にとりまして大変心強いことであり、深く感謝を申し上げます。
近年では、全国各地で豪雨による災害が頻発・激甚化していることに加え、南海トラフ地震などの超広域にわたる大規模災害の発生も危惧されており、本県を取り巻く自然災害のリスクは、これまで以上に高まっていると考えております。
これらの自然災害から、県民の生命や財産を守り、経済や社会活動を維持、発展させていくため、「災害に強い強靱な県づくり」や「想定死者数ゼロを目指した南海トラフ地震対策の深化」など、引き続き、ハード・ソフト両面で様々な対策を加速し「安全、安心な高知」を実現していかなければならないと、その決意を強くして取り組んでいるところです。
こうした取り組みを着実に進めていくため、第十四旅団の皆様方におかれましては、引き続き、ご支援、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。
本年が、第十四旅団の隊員、ご家族並びに関係者の皆さまにとって幸多き年となりますとともに、ますますのご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

自衛隊家族会

新年明けましておめでとうございます。第十四旅団の皆様におかれましては、大場 剛 旅団長様をはじめ輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は自衛隊家族会に對しまして、一方ならないご指導・鞭撻を賜りまことにありがとうございます。

ロシアのウクライナ侵略は三年目を迎えますが停戦や和平の兆しは見えず、新たに中東でハマスとイスラエルの戦闘が勃発したほか、世界各地で紛争が続いており、アジア地域でも中国の覇権主義、北朝鮮による核・ミサイル開発などがこのように、国際情勢は、戦後、最悪の危険な状態に達しています。

このような厳しい国際情勢の中で、自衛隊は我が国の領土の防衛という本来任務のみならず、国内における自然災害や新型コロナウイルス感染症などあらゆる厄災から国民の生命・財産を守る「最後の砦」としての業務に命を賭して従事し、多大な実績を挙げ、国民の多くから賞賛の声が聞かれたことは喜ばしい限りであります。

自衛隊家族会は身内を自衛隊に派遣し、自衛隊に最も身近にあることに大いなる誇りをもって自衛隊の諸活動を支援するとともに、国民全体の防衛思想の普及・高揚に努めております。

東京の家族会本部の傘下に各都道府県に本部が置かれ、県単位で具体的な活動を実施するほか地域ごとに連携しており、四国地域でも昨年十月に地域協議会を開催して意見交換と懇親会を実施しました。

今年も自衛隊を支えて元気で頑張ってくださいますのでよろしくお願いいたします。



徳島県自衛隊家族会会長
岩野 幸男



自衛隊家族会
四国地域協議会会長
高知県自衛隊家族会会長
原 洋吾



愛媛県自衛隊家族会会長
森川 建司



香川県自衛隊家族会会長
平井 卓也

隊友会

明けましておめでとうございます。令和甲辰年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年八月、中国政府は尖閣諸島を中国名で表記した台湾及び南シナ海の九十％を自らの領土・領海とするといった一方的な主張を盛り込んだ新地図を発表し、力による現状変更に向けた強い意志を示したことは我が国の安全保障態勢に強い衝撃を与えました。

一昨年のロシアのウクライナ侵略に対し、世界に張り巡らされた国連を含む安全保障システムのいづれもが有効に作動しなかったことが原因のひとつでしょう。これに対し、政府は奄美大島と沖縄本島、宮古島・石垣島にミサイル部隊を、与那国島に電子戦部隊を配備するほか、馬毛島でも自衛隊基地の建設計画を進めるなど南西諸島の防衛力強化を進めています。

このような状況の下、日本初の機動旅団たる第十四旅団に対する期待は益々大きくなっています。

昼夜を問わず鍛えられたその能力をいかんなく発揮し、与えられた任務を完遂されますようご祈念申し上げます。

隊友会も国民と自衛隊の懸け橋として、今年も第十四旅団を応援して参ります。最後に、第十四旅団全隊員並びにご家族の皆様方の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



徳島県隊友会会長
高木 謙至



隊友会四国担当執行役
香川県隊友会会長
林 政夫



高知県隊友会会長
今村 功



愛媛県隊友会会長
小原 友弘

防衛協会

新年明けましておめでとうございます。第十四旅団の皆様におかれましては新年を健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスも終息が見え始め、各部隊の皆様との親交の機会が再興しつつあります。

今年度は徳島県防衛協力三団体が担当する中国・四国地区自衛隊協力団体会長会議、徳島県防衛協会の創立六十周年行事、自衛隊徳島地方協力本部七十周年行事等があり、皆様とより交流の機会が益々増加すると期待しております。

また、世界情勢ではウクライナ侵略の長期化に加えイスラエルのガザ地区での紛争等も生じ、益々脅威となる核や弾道ミサイル発射等、北朝鮮の活動や中国の海洋進出、ロシアとの連携による力の誇示は増加し、真に厳しい安全保障情勢であり、自衛隊に対する期待はより一層増大するばかりです。

更に、厳しい安全保障環境に対応していくためのいわゆる戦略三文書の策定二年目となり、国の施策も前進が期待されます。機動旅団として最新の装備を保有する第十四旅団の皆様は、本年も、四国の防衛・警備や度重なる自然災害・南海トラフ地震への備えと共に国内のいかなる脅威にも対応できる実力向上を目指して更なる精進力への厳しい訓練に励まれる事と拝察致しております。

このような状況の中、徳島県防衛協会は、四国各県の防衛協会と共に一致団結して、引き続き積極的に支援・協力活動を推進して参ります。

最後に、今日まで長年に亘る日本国の平和や安全の重責を全うされている事に感謝し、第十四旅団の皆様のご健勝とご多幸と国民への期待に応じる活躍を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



香川県防衛協会会長
佐伯 勇人



全国防衛協会連合会副会長
四国防衛協会連合会会長
徳島県防衛協会会長
近藤 宏章



高知県防衛協会会長
山元 文明



愛媛県防衛協会会長
高橋 祐二

地方協力本部長



自衛隊
香川地方協力本部長
一等陸佐 小田 剛

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、これまで自衛隊香川地方協力本部に對しまして格別のご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

旧年中は五月に新型コロナウイルス感染症が五類感染症に移行されたこともあり、社会生活・経済活動が停滞した状況に陥って参りました。香川地本としても地域のイベントが逐次再開していることから積極的にそれらに参画して広報活動を実施して参りました。その他地道な活動を継続してきた結果、防衛大臣より第一級賞状を授与されました。これもひとえに関係諸団体の皆さまの協力・ご支援に加え、第十四旅団の皆さまの平素からの自主募集情報の提供、各種イベント等の装備品展示や音楽演奏支援、職場体験等の部隊見学対応など様々なご支援とご協力の賜物であり深く感謝申し上げます。

本年も香川地本は厳しい募集環境の中、引き続き人材確保に努めるとともに隊員の皆様が退職の日まで安心して職務に専念できるよう円滑な適職支援と処遇の向上に努める所存ですので今後とも深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。



自衛隊
徳島地方協力本部長
一等海佐 細田 直人

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、新年を穏やかに迎えることとお慶び申し上げます。旧年中は自衛隊徳島地方協力本部に對しまして格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、コロナ禍を乗り越え、各種募集イベント、行事等が例年どおり実施され、募集・広報活動で県内外を奔走する中、あらゆることにアンテナを張り、募集要領を含めた業務の見直しを行い、新しい取り組みにチャレンジするなど、「厳しく・楽しく・新しく」をモットーに任務達成に努めてまいりました。

さて、自衛官の募集環境は、若年人口の減少と景気の回復を受け、例年にまして低迷し、厳しい状況が続いております。このような中、我々自衛隊徳島地方協力本部は、防衛省・自衛隊の任務達成のため、優秀な人材の獲得に誠意を取り組んでおります。また、退職予定隊員が安心して任務に専念できる再就職の支援、予備自衛官の確保、関係部外団体等との協力関係の拡充、国民の理解と信頼をさらに深める積極的な広報等に部員一同全力を尽くす所存でありますので、今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



自衛隊
高知地方協力本部長
一等陸佐 堀川 佳紀

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は皆様から自衛隊高知地方協力本部に格別のご高配を賜り心から御礼申し上げます。

昨年は、長い間猛威を振るっていたコロナ禍をようやく脱出し、「日常」を取り戻すことができました。各種イベントを制限なく開催できるようになり、高知地方協力本部としても積極的に広報活動や説明会等を実施して参りました。しかしながら、少子化の進展に伴う適齢者人口の減少やコロナ禍終了に伴う官民の旺盛な求人ニーズ等の様々な要因により令和五年度の募集は大変厳しい状況にあることから、高知県民の皆様は自衛隊を認知して頂くように例年以上に創意工夫して募集業務に取り組んでいるところであります。第十四旅団の皆様は引き続き募集に関するご支援とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

本年も高知地方協力本部は厳しい募集環境の中にはありますが、引き続き有為な人材の確保に尽力するとともに、退職予定隊員が安心して業務に専念できるよう就職支援の支援や我が国の防衛力を支える予備自衛官の確保などに全力を尽くす所存でありますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。



自衛隊
愛媛地方協力本部長
一等陸佐 真部 亮太

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は愛媛地方協力本部に對しまして格別のご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は防衛力の抜本的強化元年であり過去例を見ない予算の大幅な増額、各種イベント等の本格的再開、新庁舎への移転等地方協力本部にとりましても転機となった一年でした。一方で、この数年間、関係者の方々に直接お会いし交流する機会が制約されてきた影響がいよいよ顕在化し私たちに与えてきた影響は「再生」と「試練」の年でもありました。

本年は、コロナ禍をのりこえ、さらには平成の大合併20周年を迎え内外の活動が一層活性化する「希望と飛翔」の年と認識しております。我々愛媛地方協力本部は、内外の状況を「前向き」に捉え、自衛官募集、退職自衛官の就職援助、予備自衛官並びに予備自衛官補の管理・募集及び広報等の多領域にわたる業務を横断的かつ複合的（領域横断的）に遂行すべく皆で「連帯」「工夫」し、自衛隊に対する愛媛県民の皆様のご理解をいただけるよう精進していく所存です。引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます

第14旅団司令部



第四部長
二等陸佐 森 祐子



第三部長
一等陸佐 早田 知弘



第二部長
二等陸佐 鈴木伸次郎



第一部長
二等陸佐 葛西 成彦



旅団最前任上級曹長
准陸尉 原 清悟



幕僚長
一等陸佐 瀧澤 英一



副旅団長兼ねて
善通寺駐屯地司令
一等陸佐 一博 岡



医務官
三等陸佐 岩橋 秀樹



監察官
二等陸佐 井上 裕策



法務官
三等陸佐 宮崎 慎也



会計課長
三等陸佐 榎 洋史



総務課長
二等陸佐 土橋 晃輔



火力調整部長
二等陸佐 鬼塚 崇句



中部方面特科隊長
兼ねて松山駐屯地司令
一等陸佐 細川 香宣



第五十普通科連隊長
兼ねて高知駐屯地司令
一等陸佐 山内 和也



第十五即応機動連隊長
一等陸佐 徳淵 文雄

香川県・徳島県隊区長

高知県隊区長

愛媛県隊区長

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は一方ならぬ御高配にあずかりました。中部方面特科隊及び松山駐屯地所在各部隊を代表し、厚く御礼申し上げます。

令和四年十二月に中部方面特科隊長兼ねて松山駐屯地司令を拝命し、早や一年が経過しました。昨年五月には、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが五類感染症となり、松山駐屯地は訓練、行事等、ほぼパニック前の状態に戻りました。

昨年は、機動旅団火力戦闘部隊として任務達成に必要な練成訓練、特に新たな火力運用要領、戦術行動・実弾射撃を重点的に練成し、大きな成果を得ることができました。また、関係機関と連携した防災訓練も積極的に企画し、激甚化する災害に円滑に対応できるように準備を促進する等、各種事態への備えを万全なものにしています。

愛媛県を隊区として担任する部隊として、日々の訓練、駐屯地行事等を通じ、真に信頼される中部方面特科隊、松山駐屯地を創造していくという気概を持ち、隊務運営をして参ります。また、中部方面特科隊は、いよいよ本年三月に部隊改編を迎えます。遺漏なきよう準備を整えるとともに、火力戦闘部隊としての任務遂行能力をその日までしっかりと保持していく所存です。愛媛県のみならず安心と安全をお届けすることができるよう、そして、機動旅団火力戦闘部隊としての能力を最大限に発揮できるよう本年も錬磨して参りますので、引き続き皆様の御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、皆様の御健勝と御多幸を祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、ご家族とともども清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、皆様方から第五十普通科連隊及び高知駐屯地に対しまして多大なご理解、ご協力及びご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、約四年ぶりに駐屯地創立記念行事を一般開放して挙行する事が出来ました。また、その他各種行事等もコロナ禍以前の状況に戻りつつあり大変喜ばしく感じます。

第五十普通科連隊は、昨年も東富士演習場における交戦装置を用いたより実戦に近い環境での訓練（FTC訓練）、日出生台演習場で行われた旅団演習などの各種訓練、県や各市町村の防災訓練などにも積極的に参加して練度を向上し、各種事態に対して即応必達できる強靱な部隊の育成に努めてまいりました。

本年も、各自治体、関係機関等と緊密に連携し、地域との連携をより強化するとともに、高知県を担任する部隊として着実に任務の完遂に必要な練度を向上させ、各種事態への即応態勢を万全にして参る所存ですので引き続き皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が、隊員とご家族の皆様、各協力団体の皆様にとりまして希望に満ちた飛躍の年になりますよう、心からお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、平素から格別のご支援・ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

さて、ウクライナ戦争や中東紛争をはじめ、世界の安全保障環境は依然厳しさを増しており、国内では戦略三文書の策定、防衛費増額など、自衛隊への期待が益々高まっております。昨年三月に本職拝命以降、皆様の信頼に応えるべく隊務を運営してまいりました。特に、隊員相互の連携を重視した作戦遂行能力及びマネジメント能力の向上、国内法・国際法に係る法令順守意識の向上など、精進さと健全さを保持した連隊の育成に努めたほか、広報活動や防災訓練などにも積極的に参加し、地域との連携にも取り組んでまいりました。

今後、即応機動連隊の名にふさわしい即応性と機動力を含めた真の実力の進化にまい進してまいりますので、変わらぬご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご支援・ご協力に重ねて御礼申し上げますとともに今後益々のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

旅団各部隊長



第十四後方支援隊長
一等陸佐 佐藤 欣央



第十四偵察隊長
二等陸佐 堀 慎也



第十四情報隊長
二等陸佐 甲斐 清博



第十四高射特科隊長
二等陸佐 鶴ヶ野翔太



第十四飛行隊長兼ねて
北徳島分屯地司令
二等陸佐 池水 俊二



第十四施設隊長兼ねて
徳島駐屯地司令
二等陸佐 吉田 正幸



第十四通信隊長
二等陸佐 小野田 怜



第十四特殊武器防護隊長
三等陸佐 西原 清隆



第十四旅団司令部付隊長
三等陸佐 菅 貴光



第十四音楽隊長
二等陸尉 中福島昭洋